

## 文化財担当者研修「古文書歴史資料調査管理基礎課程」の開催

2013年1月15日から18日の4日間、奈良文化財研究所の文化財担当者研修として、「古文書歴史資料調査管理基礎課程」を開催しました。

従来は奈文研の研修は埋蔵文化財が対象でした。しかし、近年は建造物や庭園等も扱うようになりました。そこで今回は伝世文化財にまで対象を広げて、古文書・歴史資料の研修を実施してみました。

初めての試みで、応募があるかどうか心配しましたが、定員の3倍にもおよぶ応募をいただきました。全員は受け入れきれず、最終的には19名の方に受講していただきました。内容は、未整理の文書を実際に調査したり、奈良国立博物館の修理所・山城郷土資料館を訪問して修理・古文書調査の現場を見学したり。また、文化庁の地主智彦さんのお話をうかがったり。古文書の専門家でなくても、何ができるのか、ということを考えながらの研修になりました。

文化財を扱う組織でも、古文書の専門家がいない組織も多いと思います。しかし、古文書等の伝世文化財は、行政への問い合わせも多く、必ず対応しなければならない分野です。我々主催者側も、各機関がそのような問題を抱えながら、個々の担当者ががんばって対応している実態を知ることができました。しかし、そのいっぽうで、今回は研修参加を希望されながら、参加できない方も生じてしまいました。古文書・歴史資料をはじめとする伝世文化財について、担当者同士が交流し、情報を交換しあう場が、もっと必要だと認識した次第です。今回の経験を生かして、今後もこのような機会を設け、古文書・歴史資料をはじめとして、文化財行政を幅広く充実させる必要がある、と思いを新たにしています。

(文化遺産部 吉川 聡)



古文書調査の実習